

教育原理
第4テーマ 教育とは何か(2)
二つの教育観

日付:

【学習のヒント】(本テーマの問も兼ねる)

問 「教育」をめぐる以下の文章の正誤を、理由を添えて端的に答えよ。

- ①教育は、常に子どもを中心として行われる。
→それは具体的にどのような教育か？
→「子どもを中心とした教育」によって何が育まれるか？
- ②おとなを中心とする教育は存在する。
→それは具体的にどのような教育か？
→「おとなを中心とする教育」によって何が育まれるか？
- ③「子どもと一緒に歌を歌う」。このいとなみは、常に子どもを中心として行われる。
→子どもを中心とした場合、それは具体的にどのように行われるか？
→子どもを中心としない場合、それは具体的にどのように行われるか？
- ④子どもの自発性・主体性を重視する教育は、教育として最善である。
→それは具体的にどのように行われるか？

【発展】 子どもの自発性・主体性を重視する教育が構想された時期は、およそ特定できる。

- 「子どもの自発性・主体性を重視する教育」以外の教育にはどのようなものがあるか？
→そうした教育の始期を特定できるか？

0 本科目における教育の定義(第3テーマ時、復習)

「教育」とは、「個人あるいは特定の機関が、一定の価値や理想を目指して、ある人間を望ましい姿に成長・変化させるために、(意図的・計画的に) する行為」である。

※教育における「一定の価値や理想」「望ましい姿」とは何か？

→第3テーマⅠ－1－(2)

☆「望ましい姿」が以下のような場合、教育は具体的にどのように行われるか？

- ・「自発的な子ども」 ・「個性豊かな男性」 ・「立ち居振る舞いが美しい女性」 ・「やさしい少年」
- ・「九九をおぼえた幼児」 ・「自ら考える力を持つ人材」 ・「感性豊かな少女」……

→それぞれに適した教育の方法は？

I 二つの教育観―「教」の意味合いを重んじる教育観と「育」の意味合いを重んじる教育観(参pp.4-7)

【復習】「教」と「育」の意味(第3テーマI-1-(1)、参 p.2)

・教=孝(う、おしえる) + 支(軽く叩いて注意する、鞭撻する)
→ (何かを授け与える、^{べんたつ} 倣い学ぶ)

・育=云(子) + 月(肉、養う) → (子が産まれ成長する)

・「教」のイメージ……「強制的」なイメージ? / 「やさしい」イメージ?

・「育」のイメージ……「強制的」なイメージ? / 「やさしい」イメージ?

☆「教育」という言葉は、一つの単語の中に、異なる二つの意味を持つ。

1 「教」の意味合いを重んじる教育観(参pp.4-5)

【前提】 教育者は、学習者の個性・興味・関心・主体性・自発性などに対して、どのように向き合うか。

※ E. クリークによる教育の定義

「陶冶(教育)とは、共同社会の中に遺産として現存するところの文化財を、成員たちの生きた私有財産になるように移植していくことにより、各個人とくに後継者たちを、その現実形態が民族であるところの共同社会全体の中へ成員として組み入れていくことである」(松島鈞ほか監修(2009)『現代学校教育論』日本文化科学社、4頁)

→端的に説明すると?

(↑キーワードは?)

※教育において、何を重視するか。

「文化内容の伝達、技能・技術の伝授、思考形式・行動様式の教導および鍛錬」(同上)

→「(一定の)を、教育する側が、教育を受ける側に()かつ()に習得させていくこと」

☆「教育のイメージ」において、A, Bどちらに重点が置かれるか。それは、具体的には誰であることが多いか。

・A? B?

・おとな? こども?

→ 中心の教育観

※いかなる教育方法がとられるか。

・移植・注入、詰め込み・押しつけ、教材中心教育・教師中心教育

※何を教育することに向いているか。

・「教育する側が、教育を受ける側に()かつ()に習得させるべきこと」

→具体的には?

2 「育」の意味合いを重んじる教育観(参 pp.5-6)

※教育において、何を重視するか。

- ・子どもの側の成長・発達を見守り、育むこと、子どもの個性・興味・関心・自発性・主体性

☆教育において、A, Bどちらに重点が置かれるか。それは、具体的には誰であることが多いか。

- ・A? B?

- ・おとな? こども?

→ 中心の教育観

※教育により育まれるのは何か。

- ・(子どもの)

※いかなる教育方法がとられるか。

- ・ 中心(主義)教育、経験主義教育、進歩主義教育

※何を教育することに向いているか。教育内容としては?

【発展】「二つの教育観」と具体的な教育目的および方法

- ・「絵本を読む」

- ・「教」 教育目的……

教育方法……

教材……

- ・「育」 教育目的……

教育方法……

教材……

3 二つの教育観の現代的課題(参 pp.6-7)

歴史的に形成されてきた社会的制度や文化遺産等の効率的受容(側の原理) = 「 」

VS.

子どもの「学ぶ権利」や個性を尊重した、個々の子どもの主体的成長(側の原理) = 「 」

※子どもの教育においてどちらが重要?

- ・知識、技術、文化などの速く効率的な伝達
- ・個性・興味・関心、自主性・創造性などの育成

【参考】望ましい表現???

- ・「～させる」→「～するよう促す」、「～するよう言葉がけする」、「～するよう援助する」
- ・「褒める」→「認め、励ます」

問1 英語において「教育」を意味する単語の由来に関して、以下の空欄に適切な用語を入れなさい。(語群)の用語を使用して良い。

・英語において「教育」を意味する(①)の語源は、(②)語の(③)と(④)であるとされる。③が「引き出す、導き出す」という意味を持つことから、教育は、教育する側が、学習する側の(⑤)を引き出す行為であるとも言われる。

(語群) education, educate, educere, Erziehung, ラテン語、ギリシャ語、潜在する能力や可能性

問2 「教育」をめぐる二つの教育観(「教える」と「育む」)について、以下の語句をすべて用いて説明しなさい。
解答文中、これらの用語には下線をつけなさい(語句使用の順序・頻度は自由)。

①社会のルールや価値観, ②知識技術の迅速で効率的な伝達, ③子どもの成長発達, ④個性・興味・関心, ⑤自発性・主体性

問3 「教育」をめぐる二つの観点(見方)について、以下の空欄に適切な用語を入れなさい。

教育をめぐるのは、(①)を強調する観点と、(②)を強調する観点がある。①を強調する観点は、(③)と、(④)など、一定の教育内容を、教育を(⑤)側が教育を(⑥)側に(⑦)に習得させていくことを重視する。この観点のもとでは、教師や保護者など(⑧)の側が、教育において中心的な役割を果たす傾向にある。

②を強調する観点は、教育の速さや効率性よりも、子どもの持つ(⑨)や、(⑩)を重んじて、一人ひとりの子どもの(⑪)を見守りながら、育むことに価値を置く。こうした教育観は、後に、教育の中心を(⑫)の側に置く教育思想や教育実践を生み出すに至った。

問2, 3(補)

・教育の中心に置かれ得る存在を二通り挙げよ。

(1 , 2)

・上記の1、2の場合、教育は何を重視して行われるか、それぞれ挙げよ。

1:

2:

・上記の1、2の場合、教育はどのような方法で行われるか、それぞれ挙げよ。

1:

2: